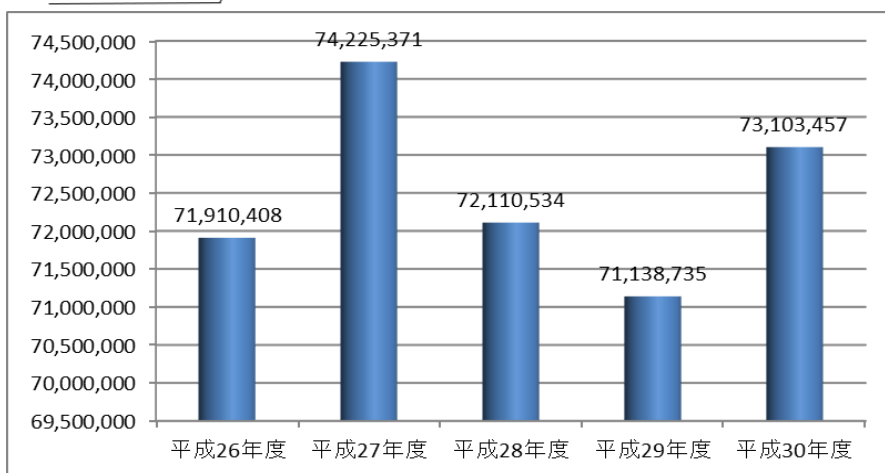
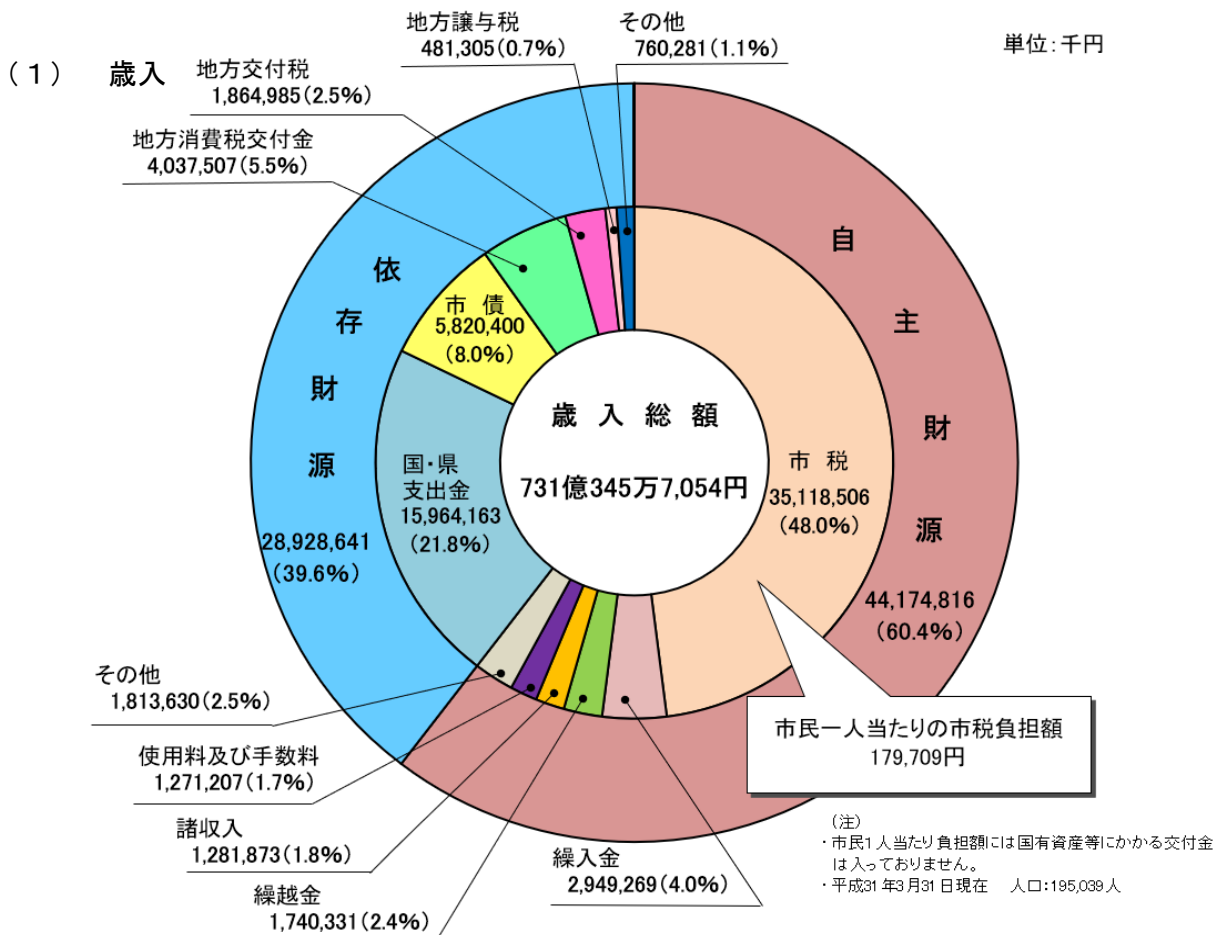


平成30年度 沼津市一般会計等の決算の概要

※ 本資料の図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

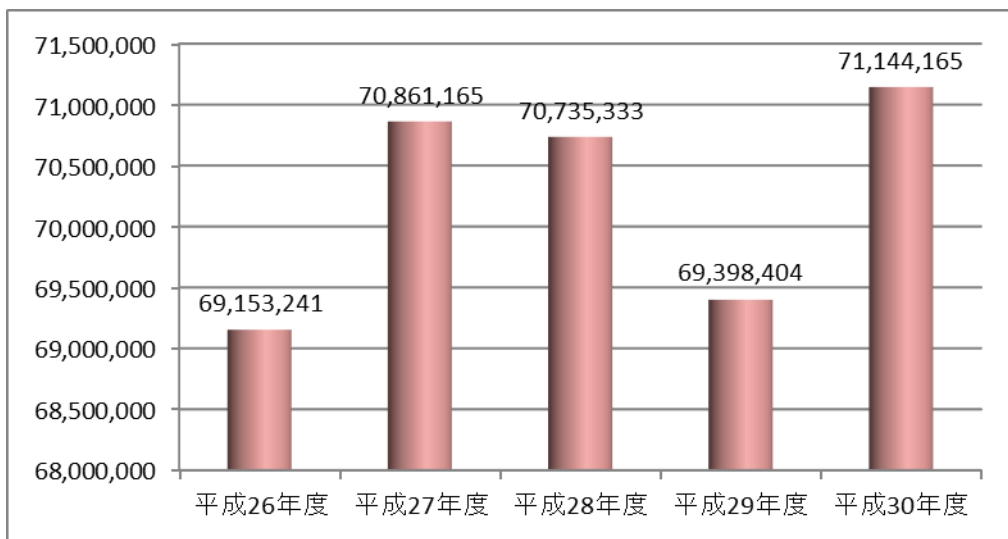
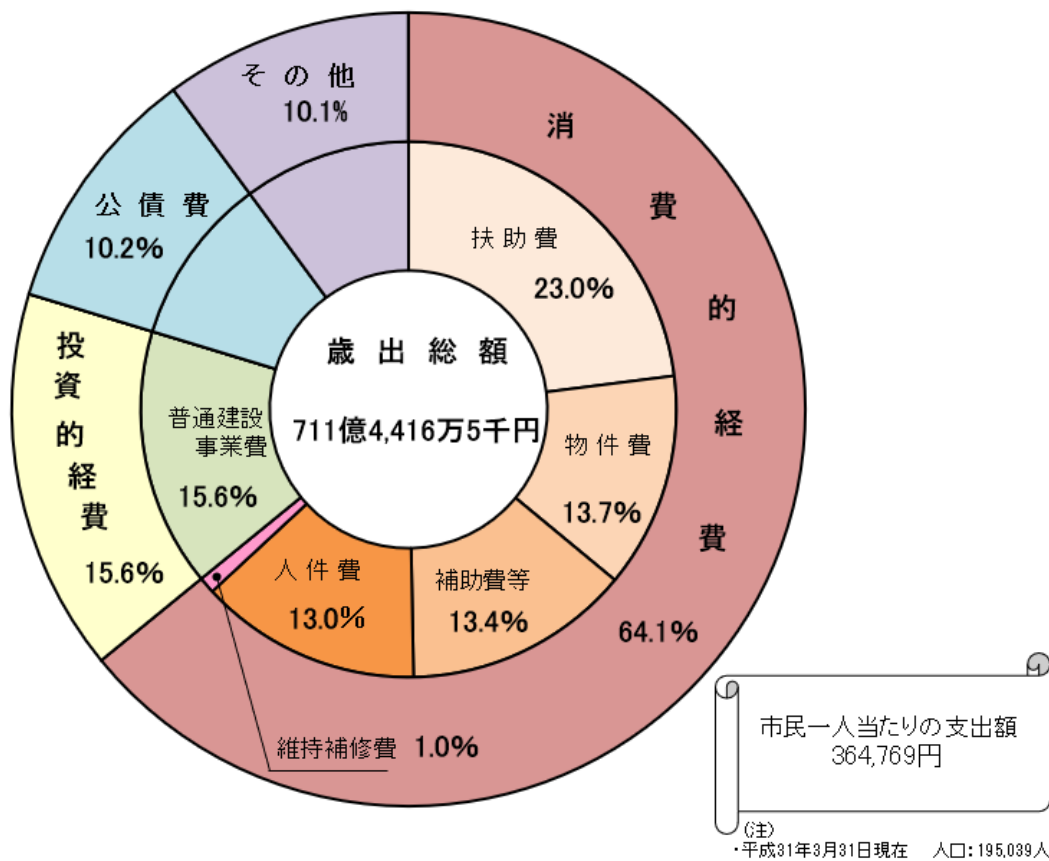
1 一般会計

歳入	731億345万7千円 (前年度比 19億6,472万2千円)
歳出	711億4,416万5千円 (前年度比 17億4,576万1千円)



歳入は、前年度と比べ、19億6,472万2千円の増となりました。これは、市税が3億6,231万6千円の減となった一方、市債が8億8960万円、繰越金が3億6,513万円、それぞれ増となったことなどが主な要因です。

(2) 歳出



歳出は、前年度と比べ、17億4,576万1千円の増となりました。義務的経費のうち、補助費については、臨時福祉給付金の完了などにより減となりました。また、市債の償還や利子の支払いに要した公債費は増となりました。一方、普通建設事業費などの投資的経費については、門池小学校校舎整備事業の開始などから増となりました。

(3) 決算収支

	平成 29 年度	平成 30 年度	増減額
形式収支 (ア)	1,740,331 千円	1,959,292 千円	218,961 千円
翌年度へ繰り越すべき財源 (イ)	366,663 千円	331,216 千円	▲35,447 千円
実質収支 (ウ=ア-イ)	1,373,668 千円	1,628,076 千円	254,408 千円
単年度収支 (エ=ウ-前年度の実質収支)	71,127 千円	254,408 千円	183,281 千円
実質単年度収支 (オ)	187,377 千円	▲455,571 千円	▲642,948 千円

平成30年度決算における、歳入から歳出を差し引いた形式収支は、市税や諸収入の決算額が予算額を上回ったことなどにより、前年度と比べ、2億1,896万1千円増の19億5,929万2千円となりました。また、形式収支から翌年度への繰越財源3億3,121万6千円を差し引いた実質収支は、16億2,807万6千円となりました。

(4) 市税の歳入状況

単位：千円

	平成 29 年度	平成 30 年度	増減額	増減率
市 民 税	14,805,835	14,648,586	▲157,249	▲1.1%
個人	11,770,529	11,584,785	▲185,744	▲1.6%
法人	3,035,306	3,063,801	28,495	0.9%
固定資産税	15,775,724	15,590,173	▲185,551	▲1.2%
軽自動車税	444,269	462,535	18,266	4.1%
市たばこ税	1,483,262	1,463,251	▲20,011	▲1.4%
入 湯 税	20,412	18,408	▲2,004	▲9.8%
都市計画税	2,951,320	2,935,553	▲15,767	▲0.5%
合 計	35,480,822	35,118,506	▲362,316	▲1.0%

(5) 市債の状況

平成 30 年度現在高 693 億 3,716 万 5 千円 (前年度比 ▲8 億 5,708 万 7 千円)

平成 29 年度末 現 在 高	平成 30 年度 借 入 額	平成 30 年度 償 還 額	差 引 現 在 高
70,194,252 千円	5,820,400 千円	6,677,487 千円	69,337,165 千円

(6) 主な財政指標

	平成 29 年度	平成 30 年度	増減
財政力指数	0.962	0.964	0.002
経常収支比率	84.9%	87.2%	2.3
実質公債比率	4.5%	4.7%	0.2
将来負担比率	27.9%	29.7%	1.8

自治体の財政力の強さを示す財政力指数は 0.962 から 0.964 へと 0.002 ポイント上昇し、財政の硬直性を示す経常収支比率は、85.9%から 87.2%へと 2.3 ポイント上昇しました。一方、財政の健全性を判断する指標である、実質公債比率は 4.5%から 4.7%へと 0.2 ポイント上昇し、将来負担比率は 27.9%から 29.7%へと 1.8 ポイント上昇しています。

2 特別会計

単位：千円

	国民健康 保険事業	土地取得 事業	介護保険 事業	簡易水道 事業	後期高齢者 医療事業
歳入 (カ)	23,016,351	466,912	16,418,890	13,561	2,458,533
歳出 (キ)	22,501,849	466,912	15,873,122	12,493	2,452,028
形式収支 (ク=カ-キ)	514,502	0	545,768	1,068	6,505
翌年度へ繰り越すべき 財源 (ケ)	0	0	0	0	0
実質収支 (コ=ク-ケ)	514,502	0	545,768	1,068	6,505

3 企業会計

単位：千円

	病院事業	水道事業	下水道事業
収益的収入	10,729,651	3,103,400	4,958,073
収益的支出	10,910,596	2,585,169	4,781,289
資本的収入	953,640	800,070	2,008,129
資本的支出	1,267,419	2,367,999	3,862,200